

市、ミドリガメ対策で

収容施設の新設検討

明石市内の河川やた
め池で大量繁殖してい
る外来種のミシシッピ
アカミミガメ(ミドリ
ガメ)対策を進める「市
ミシシッピアカミミガ
メ対策協議会」(亀崎

直樹会長)の臨時総会
が3日、大久保町松陰
の明石クリーンセンタ
ーであり、市がカメの
収容施設の新設を検討
していることが明らか
になった。

市では市民から引き
取るなどしたカメを須
磨海浜水族園(神戸市
須磨区)内の淡水ガメ
保護研究施設「亀楽園」
に収容してきたが、今
年4月の同協議会設立

を機に、市独自の収
容も検討し始めた。
亀崎会長は「明石市
が収容施設設置に向け
て動いていこうとする
のは画期的」と評価。

石ため池清掃志隊「レ
ッドイヤースライダー
ズ」(NPO法人ぴー
す)の承認式も行われ
た。
(藤原昇平)

市は「協議会で議論を
深め、いろいろ検討し
ていきたい」とした。
また臨時総会では、
同協議会に新加入する
「和亀保護の会」「明